

◇第10章・メイクアップ

H17春

問題1 スキンケアに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① トーニングとは、ティッシュペーパーで汚れをふいた後、再度コットンに水を加えふき取りを行う技術である。
- ② クレンジングとは、スチームを使用して肌の汚れを取り除く技術である。
- ③ プロテクティングとは、皮膚の表面に水分の蒸発を防ぐ保護膜を作ることである。
- ④ リクレンジングとは、肌に化粧水をパッティングして水分を補給することである。

H17夏

問題2 メイクアップの道具に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ブラシは、粉の付き方、ばかしやすさ、肌への刺激の少なさなど、どの点でも天然毛よりナイロン製が優れている。
- ② スポンジ、パフなどは、繊維のきめが細かいものを使う。
- ③ トウイザーは、眉のバランスが悪い場合に眉毛を剃り整えるために用いる。
- ④ スクリューブラシは、まつ毛の根元に当ててカールをして目を大きく見せる。

H18春

問題3 ファンデーションを塗布する際のスポンジの使い方に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① ブッシュ・・・・・・・・・・目元にやわらかい陰影をつけるようにぼかす方法
- ② ストローク・・・・・・・・・・薄くのぼすためにすべらせる方法
- ③ パッティング・・・・・・・・・・厚みをつけるために軽く押さえる方法
- ④ シェーディング・・・・・・・・・・なじませるために、軽いタッチで上からはたくようにする方法

H18夏

問題4 眉の基本プロポーションに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 眉山は、黒目の外側と目尻の範囲内にあるとよい。
- ② 眉中は、目頭と黒目の外側の範囲内にあるとよい。
- ③ 眉頭は、鼻尖（ハナサキ）の延長線上にあるとよい。
- ④ 眉尻は、眉山を通る水平線上において、小鼻と目尻を結んだ線の交点と目尻からの垂直線との交点の間にあるとよい。

H19春

問題5 メイクアップに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 目の形をはっきり印象づけるためアイライナーを用いる。
- ② アイライナーは、リキッドタイプよりペンシルタイプの方が、くっきりしたラインを描ける。
- ③ マスカラは、まつ毛を長く太く見せ、ボリューム感を与える。
- ④ アイブロウペンシルは、芯の硬いものを選び、眉毛を植え込むように描くとよい。

H19夏

問題6 スキンケアに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 肌の汚れのうち汗は、油溶性である。
- ② クレンジングの目的は、肌の汚れを落とすことである。
- ③ プロテクティングの目的は、肌に水分を与え、毛穴を引き締めることで、保湿効果の高い化粧水を使用する。
- ④ トーニングの目的は、皮膚の表面に水分の蒸発を防ぐ保護膜をつくることで、親水性のミルクタイプの乳液を使用する。

H20 春

問題7 ファンデーションの種類に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① クリームタイプは、油性タイプの固形で油分の量も多くカバー力に富んでいる。
- ② スティックタイプは、油分は少ないがカバー力があり、しっかりとした皮膚感をつくることができる。
- ③ リキッドタイプは、乳液状で油分が少なくカバー力は弱いですが、皮膚感が自然に見える。
- ④ プレストパウダータイプは、水性タイプの固形で汗に強くカバー力に富んでいる。

H21 春

問題8 メイクアップに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① メイクアップ用のブラシの毛の硬さは、太いものほど柔らかく、細くなるほどコシのあるものを選ぶのが目安である。
- ② トーニングは、肌に水分を補給し、潤いと張りを与えることができる。
- ③ ファンデーションを首に塗る時は、下から上にスポンジをすべらせながら塗る。
- ④ パウダリングは、ファンデーションを固定させ崩れにくくし、肌に透明感を出す。

H21 夏

問題9 ファンデーションの種類と仕上がりに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ケーキタイプは、クリーム状で油分が多く、カバー力に富み、しっかりとした皮膚感をつくることができる。
- ② スティックタイプは、水性タイプの固形でカバー力や耐久性に富み、厚みをつけることができる。
- ③ クリームタイプは、油性タイプの固形で油分が多く、カバー力に富み、重ね塗りすることにより厚みをつけることができる。
- ④ リキッドタイプは、乳液状で油分が少なく、カバー力は弱いですが、皮膚感が自然に見える。

H22 春

問題10 ファンデーションの塗り方に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 皮脂や汗の分泌の多いTゾーン（鼻のまわりと額）は薄めに塗る。
 - b 皮膚の動きの少ない頬は薄めに塗る。
 - c 皮膚の動きが激しく、ポイントメイクアップを行う目や口のまわりは厚めに塗る。
 - d 首の部分は、フェイスラインにたまったファンデーションをぼかし込む。
- ①aとb ②bとc ③cとd ④aとd

H22 夏

問題11 ファンデーションの塗り方に関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

「骨格沿ってファンデーションを塗ることで、（ A ）に見せることができる。また、（ B ）の流れや（ C ）の動き方に合わせた厚みで塗ることによって、時間経過によりメイクアップがくずれたときも、自然なくずれ方になる。」

- | | A | B | C |
|---|-----|----|----|
| ① | 平面的 | 血液 | 皮膚 |
| ② | 平面的 | 皮脂 | 筋肉 |
| ③ | 立体的 | 筋肉 | 皮膚 |
| ④ | 立体的 | 眉毛 | 筋肉 |

H23 春

問題12 ベースメイクアップにおけるファンデーションの目的に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 肌に水分を補給し、潤いと張りを与える。
 - b 肌の色調や質感を美しくし、きめを整える。
 - c ホコリ、風、紫外線、寒さなどの刺激を防ぐ
 - d 皮膚表面からの水分の蒸発を防ぐ
- ①aとb ②bとc ③cとd ④aとd

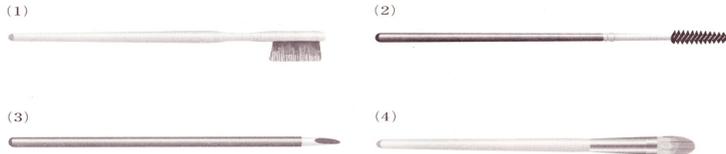
H23 夏

問題13 メイクアップのリップの描き方に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 上唇の山の部分と下唇の部分の厚みを同じにする。
- ② 口角は上下の厚みを同じにする。
- ③ 口紅を上下の唇の口角でつなく。
- ④ 下唇から描き始め、中央から口角に向かって描く

H24 春

問題14 メイクアップに用いる道具のうち、マスカラとアイブロウのどちらにも使えるものは、次のうちどれか。



H24 夏

問題15 ファンデーションの塗り方に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 首には、フェイスラインからファンデーションをぼかし込む。
- ② 皮脂や汗の分泌が多い鼻のまわりやTゾーンは厚めに塗る。
- ③ 皮膚の動きが激しく、ポイントメイクアップを行う目や口のまわりは厚めに塗る。
- ④ 皮膚の動きの少ない頬は、薄めに塗る。

H25 春

問題16 ベースメイクアップのテクニックのうち、シミやソバカスをカバーするのに用いるのは、次のうちどれか。

- ① ハイライト
- ② カバーホワイト
- ③ シェーディングルージュ
- ④ パウダリング

H25 夏

問題17 アイブロウメイクアップに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 眉を描く順序は、まず眉山から眉尻の間を描く。
- ② 眉山は黒目の外側と、中央の延長線の間が基本である。
- ③ アイブロウペンシルは、芯のかたいものを選ぶ。
- ④ アーチ型は、眉山から眉尻にかけて丸みのある形に描く。

H26 春

問題18 ファンデーションの塗り方に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 皮脂や汗の分泌が多い鼻のまわりと額（Tゾーン）は、薄めに塗る。
- ② 皮膚の動きの少ない頬は、薄めに塗る。
- ③ 皮膚の動きが激しく、ポイントメイクアップを行う目や口のまわりは、薄めに塗る。
- ④ 首の部分は、フェイスラインにたまったファンデーションをぼかしこむ。

H26 夏

問題19 ファンデーションの塗布の技法とその説明に関する次の組合せのうち、正しいものはどれか。

- ① ノーズシャドー・・・くまやくすみを目立たなくするため、肌より1～2段階明るい色をおく。
- ② ハイライト・・・肌より明るい色の効果（膨張、前進効果）によって、より高さを強調する。
- ③ ローライト・・・ファンデーションを固定させ崩れにくくし、肌に透明感を出す。
- ④ カバーホワイト・・・骨格のくぼんでいる部分や陰として強調したい部分に肌より1～2段階程度暗い色のファンデーションをおく。

H27 春

問題20 ベースメイクアップに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ファンデーションは、素肌よりも美しく、自然な感じのつややかな肌に整える。
- ② 顔の骨格の高い部分を強調するため、その人の肌の色より明るいトーンファンデーションを塗る技法をハイライトという。
- ③ 皮膚の動きが激しく、ポイントメイクアップを行う目や口のまわりは、ファンデーションを厚めに塗る。
- ④ ファンデーションを肌に定着させるために、軽いタッチで細かく上からはたく技法をパッティングという。

H27 夏

問題21 ファンデーションの種類と特徴に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ケーキタイプは、クリーム状で汗などに強く、カバー力と耐久力がある。
- ② リキッドタイプは、乳液状で油分が少なく、カバー力が弱い。
- ③ プレストパウダータイプは、水性タイプの固形で、油分が多く、カバー力が強い。
- ④ スティックタイプは、油分が少なく、カバー力と耐久力が弱い。

H28 春

問題22 ファンデーションの種類と特徴に関する次の組合せのうち、正しいものはどれか。

- ① プレストパウダータイプ・・・汗などに強く、カバー力、耐久力に富み、多少の厚みをつけることができる。
- ② ケーキタイプ・・・・・・・・・・乳液状で、油分はやや多く、カバー力があり、しっかりとした皮膚感を作ることができる。
- ③ クリームタイプ・・・・・・・・・・油分が少なく、カバー力は弱い、皮膚感が自然に見える。
- ④ スティックタイプ・・・・・・・・・・カバー力に富み、重ね塗りすることにより、厚みをつけることができる。

H28 夏

問題23 ファンデーションの塗布に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 軽いタッチで上からはたくスポンジの使い方をブッシュという。
- ② 首とフェイスラインの境目は、フェイスラインから下に向かってぼかしこむとよい。
- ③ 薄くのばすときは、顔の中央から外側に向かってスポンジを滑らせるように動かすとよい。
- ④ ファンデーションは、頬を厚く、その他を薄く塗ることによって、立体的な仕上がりになる。

H29 春

問題24 メイクアップに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① アイシャドーは、目もとにやわらかい陰をつけたり、立体感やくぼみを与える。
- ② マスカラでまつ毛を長く太く見せ、ボリューム感を与えることで、目の表情を生き生きと見せる。
- ③ アーチ型の眉は、知的でシャープな印象になる。
- ④ リップは、口角から中央に向かって描くと形をつくりやすい。

H29 夏

問題25 アイブローメイクアップに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① アイブローペンシルは、芯が柔らかい方が自然に仕上がる。
- ② 眉を描く順番は、はじめに眉頭から眉山の間を描くとバランスがとりやすい。
- ③ 眉山は黒目の中心と目尻の延長線の間が基本である。
- ④ 眉山から眉尻にかけて丸みのある形をアーチ型という。

H30 後期

問題26 ファンデーションの塗り方に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 頬は、皮膚の動きが多いので薄めに塗る。
- ② 鼻のまわりは、皮脂の分泌が多いので厚めに塗る。
- ③ 頬は薄く、その他は厚く塗ると、崩れにくい仕上がりになる。
- ④ ファンデーションを薄くのばすためには、スポンジを滑らせるように動かすとよい。

R2・前期

- 問題27 まつ毛エクステンションに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① まつ毛エクステンションのリペアは、個人差はあるが、通常2～3週間で行う。
 - ② 衛生面を考えてアイメイクアップは取り除いて施術する。
 - ③ エクステンションの装着は、まつ毛の成長期は避け、成長期の終わりから退行期が始まる時期が最適である。
 - ④ グルーやリムーバーによるアレルギーは、施術後、数分で必ずあらわれる。

R2・後期

- 問題28 まつ毛エクステンションに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① カウンセリングは、1回だけ行う。
 - ② カウンセリングは、目についてだけ行う。
 - ③ カウンセリングでは、施術のリスクについても正しく伝える。
 - ④ アレルギー反応は、必ず施術中にあらわれる。

R3・前期

- 問題29 まつ毛エクステンションに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① エクステンションを接着しやすいように、コンタクトレンズの装着を勧める。
 - ② リペアは、個人差はあるが、通常6～7週間で行う。
 - ③ アイメイクアップを落としてから施術する。
 - ④ 過去にアレルギー性の接触皮膚炎を発症しなかった物質では、かぶることはない。

R3・後期

- 問題30 まつ毛エクステンションによる接触皮膚炎に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 初回の施術では発症することはない。
 - ② 過去に発症しなかった物質でもかぶれることがある。
 - ③ 刺激性の場合は、片側性のあることがある。
 - ④ アレルギー性の場合は、接触した部位を超えて症状があらわれることがある。

R4・前期

- 問題31 アイブrouメイクアップに関するスギの記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 眉毛は、眉頭に近い部分を短く、眉尻に近くなるにしたがって長くカットするとよい。
 - ② 眉尻から眉頭までを一気に描くのが基本である。
 - ③ 眉山の位置は、黒目の外側と目尻の延長線の間とするのが基本的なプロポーションである。
 - ④ アイブrouペンシルで眉毛を1本1本描くことをシェーディングという。

- 問題32 まつ毛エクステンションに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① まつ毛の毛周期は、1～2年である。
 - ② エクステンションの装着は、まつ毛の成長期初期が最適である。
 - ③ エクステンションは、地肌から1～2mmほど離してまつ毛に装着する。
 - ④ リペアは、通常6～7週間で行う。

R4・後期

- 問題33 アイブrouメイクアップに関するスギの記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 芯のかたいアイブrouペンシルを用いて、1本1本の眉毛を植え込むように描くとよい。
 - ② 眉山は、黒目の中心と外側の延長線の間が基本である。
 - ③ ドローイングは、アイシャドウで眉毛の部分に陰を付け、自然な仕上がりにすることである。
 - ④ アーチ形の眉は、眉頭から眉尻にかけて直線的に描くとよい。

問題34 まつ毛エクステンションに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① エクステンションは、まつ毛の成長期初期の装着が最適である。
- ② エクステンションは、地肌から3mm以上離して装着する。
- ③ エクステンションは、通常2～3週間持つ。
- ④ エクステンションを装着しやすいように、眼鏡の代わりにコンタクトレンズの使用をすすめる。